



命

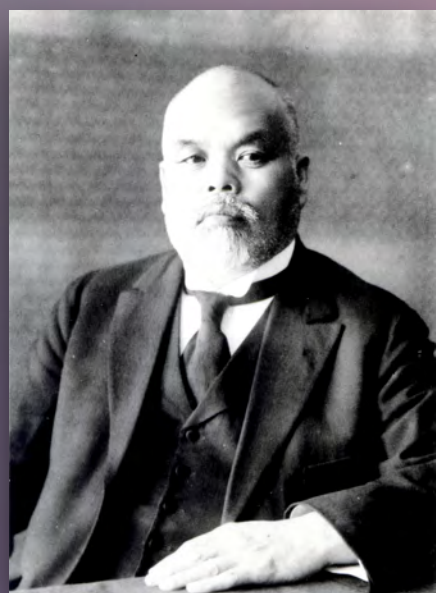
Kansai University Junior / Senior High School Project Based Learning

	仏教	神道
教祖	ブツ(釈迦)	なし
経典	三蔵 (律蔵, 経蔵, 論蔵)	古事記, 日本書紀
崇拝対象	仏像(偶像崇拝)	八百万の神 [自然崇拝]
由来	インド由来	古来日本

学の実化

学の実化とは、大正11年に関西大学が大学へ昇格したときの総理事山岡順太郎氏によって提唱され、現在も関西大学の学是として受け継がれています。学の実化という考え方は、「学理と実際との調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育の奨励」からなりますが、その中心となったのは「学理と実際との調和」でした。山岡順太郎氏は、深遠な学問は空理に終わらせるのではなく学理と実際との調和を追究すべきであると力説し、関西大学の歩むべき指標を示しました。本校もこの精神を受け継ぎ、学の実化の実現に向けてプロジェクト学習や国際理解教育を中心とした教育活動を行っています。

関西大学中興の祖 第11代学長 総理事 山岡順太郎



(1866～1928)

山岡順太郎氏は、慶応2年（1866）9月18日石川県に生まれました。

明治31年大阪商船株式会社に入社し、大阪商船の発展の基礎を築きました。また、当時衰退していた大阪鉄工所（日立造船の前身）の社長となり、見事再建に成功させ、一躍、大阪財界に名を馳せました。他には日本電力などの社長となり、宇治川電気、大阪曹達など10有余の会社役員も兼ねました。さらに大正6年から大正10年まで大阪商業会議所会頭を務めました。

関西大学とのかかわりはこの頃からで、大正9年、本学評議員に推挙され、大正11年5月総理事に選任されました。翌年学長に選任され、千里山学舎建設、大学昇格などの大事業を遂行し、本学中興の祖といわれています。

（関西大学年史編纂室より抜粋）



本校の探究学習では、「学の実化」を目標に掲げ、学理と実際との調和を目指して「自律力」「人間力」「社会力」「国際力」「創造力」の5つのコンピテンシーを育成することで、生徒たちに考動力を身につけていきます。

また、これらのコンピテンシーをもとに、評価のための目標としてベンチマークを示しています。ここには、中等部1年生から高等部3年生までの間、具体的に生徒たちがどのような活動ができることが望ましいかを示しており、これをもとに探究活動を進めています。

初等部

中部

高等部

『学の実化』：学理と実際との調和 国際的精神の涵養 外国語学習の必要 体育の奨励

感性豊かな子、考える子、
挑戦する子

知的好奇心を高め、情感豊かな心を育てる

探究する力に根ざした、高い人間力を育てる

ミューズ学習・生活科・総合

ミューズ学習：6つの思考スキルの習得
生活科・総合：思考スキルの活用
気づき、探究

考える科・総合

考える科：思考スキルの総合的な活用
総合学習：課題選択・解決手段の構築

プロジェクト基礎・ゼミ・卒業研究

自ら課題設定・解決手段の構築
社会への新しい提案・貢献

E1.2 異文化発見

家族や地域社会との直接的な関わりを通して、自国の文化について関心を持ち、さらに自国と比べた異文化についても目を向ける。

E3.4 異文化交流

国際交流活動を通して、自国と他国の文化の違いや共通点を知り、異文化に関心をもつ。

E5.6 異文化交流 国際協力

国際交流活動を通して、世界の現実を知り自分にできる国際協力を考え、実践する中で、認め合い、支え合い、関わり合うことができるようにする。

主な交流先

韓国、中国、台湾、フィリピン、オーストラリアなど

J1 MACHI プロジェクト

- 高槻を知り、高槻に関わり、高槻の人とつながる -

- ① 都市交流系列：都市交流からみる高槻
- ② 地歴系列：地理や歴史の調査からみる高槻
- ③ 自然系列：高槻市の自然、高槻垣制作からみる高槻
- ④ 福祉系列：福祉体験、福祉活動からみる高槻

高槻への貢献
プロジェクト
を計画

考える科1「水平思考」

多面的思考（コミュニケーション1）→多面的思考（なぞかけ）→評価（プレゼンテーション）→比較分類（調べるミッション）

関西大学中部部がある町「高槻市」。
私たちは知らないうちに高槻市の皆さんに助けられながら、高槻の資源の恩恵を受けて過ごしています。高槻にいる多くの人やモノと関わることによって、高槻がどういった場所で、どのようなことが行われているのかを知り、高槻にある学校の生徒として貢献できることを考えていくプロジェクトです。

J2 MIRAI プロジェクト

- ものづくりから人がつながる地域づくりへ -

- ① 1次産業：農林水産業
- ② 2次産業：製造加工業
- ③ 3次産業：金融流通販売業

日置川地区の
産業から学ぶ
(民泊・物産展) → 地域の未来を
考える
(ディベート)

考える科2「垂直思考」

多面的思考（コミュニケーション2）→批判的思考（ストレスマネジメント）→構造化（ディベート演習）

みなさんの食卓に並ぶごちそう、そこにたどり着くまでに、いったい何人の人が関わっていると想像できますか。人が働き、ものが流通することで、人は暮らしているのです。

産業の構造を知り、人と人とのつながりを実感し、人が暮らす地域とは何かを産業を通じて考えるプロジェクトです。

J3 MICHİ プロジェクト

- 高槻、地域、世界の人とつながり、自分のあり方を考える -

- ① おもてなし系列
- ② もったいない系列
- ③ しあわせ系列

京都FW
カナダ研修
学校交流
ホームステイ

-My Story-
自分の
過去・今・未来
を考える

考える科3「メタ認知」

論理的思考（パラグラフライティング）→創造的思考（図を見て考えよう）→メタ認知（いのちの学習）

日本における「おもてなし」「もったいない」「しあわせ」について追究し、日本人のアイデンティティーについて考え、カナダでの学校生活、家庭生活と比較していきます。

自分の過去をふりかえり、日本で生活している今の自分を見つめ直し、未来の自分を考えるプロジェクトです。

持続可能な地球環境の構築に対するイノベーターの育成

S1 プロジェクト基礎

- 身近なことから課題を見つけ探究活動の基礎を養う -

1. 関大高等部SDGsフォーラム
2. ゼミ選択
3. 研究室訪問
4. フィールドワーク
5. ポスター発表会（グループ）

S2 プロジェクトゼミ

- グローバルな視点で課題を設定し探究活動を行う -

1. 個人研究課題設定
2. 文献調査
3. フィールドワーク
4. ポスター発表中間報告会（個人）
5. 個人論文執筆

S3 卒業研究

- 探究活動のまとめとして卒業論文執筆、研究発表会の実施 -

1. 卒業研究発表会予選会
2. 卒業研究発表会本選会
3. 葦葉祭出店
4. 事業報告会

卒業生が将来グローバルリーダーとして活躍するため、地球規模の多様な課題に向き合い、それらを解決するため、1年生ではグループ研究、2年生では個人研究を行い、共に学び、多面的に検討し、課題解決に向けて取り組む実践力を身につけていくプロジェクトです。

このプロジェクトでは、少人数のゼミで活動し、外部講師の指導を受けながら、課題設定やフィールドワーク、ポスター発表会や論文執筆を行います。関西大学と連携した、併設校ならではのプロジェクトです。

- ① 社会系列（3ゼミ）：経済産業・地域創生・政治
- ② 人間系列（3ゼミ）：国際協力・文化歴史・教育
- ③ 自然系列（2ゼミ）：都市環境・自然環境
- ④ 安全系列（2ゼミ）：危機管理・災害事故

卒業研究の発表後は、これまで取り組んできた課題研究をもとに、地域や社会へ貢献するための実践的な活動を行います。自分たちの考えたプランが果たして社会で通用するのか。葦葉祭の出店に向けて活動していきます。



考える科について

考える科とは、本校の重点目標である思考力の育成に特化した授業です。この授業では考えることを科学し、幅広いテーマを扱いながら考えることを楽しみます。本校では考える方法を『1つの視点で深く掘り下げる（垂直思考）』と『多面的な視点で発想を広げる（水平思考）』ととらえています。そして、最終的には自分がどのような存在なのかを自己分析させる力（メタ認知能力）の獲得を目指します。

中部部 考える科

—考えることを科学する—



思考力の育成

総合的な学習の時間

- ・教科横断的な問題解決能力の育成
- ・創造的、協同的に取り組む態度の育成

教科

- ・言語や数などの情報を目的に応じて使いこなす力の育成

考える科

- ・思考スキルの活用
- ・道徳的実践力の育成

カリキュラム

中部部1年：考える科1「水平思考」

多面的思考（コミュニケーション1、ディスカッション）→評価（プレゼンテーション）→比較分類（調べるミッション）

中部部2年：考える科2「垂直思考」

多面的思考（コミュニケーション2）→批判的思考（ストレスマネジメント）→論理的思考（ディベート演習）

中部部3年：考える科3「メタ認知」

論理的思考（パラグラフライティング）→創造的思考（大学入試を考える）→メタ認知（いのちの学習）



ものごとをより深く広く考えるためには思考スキルが必要です。この授業では様々な思考スキルを活用し、自らの考えをまとめていきます。ディスカッションやディベート・プレゼンテーションなどのまとめていく過程を繰り返すことで、実践的な表現力が身についていきます。

考える科で育成することが期待できる思考スキル

比較する	分類する	関連づける	理由づける	多面的にみる
評価する	構造化する	具体化する	抽象化する	推論する

MACHIプロジェクトについて

関西大学中等部がある町「高槻市」。私たちは知らないうちに高槻市の皆さんに助けられながら、高槻の資源の恩恵を受けて過ごしています。高槻にいる多くの人やモノと関わることによって、高槻がどういった場所で、どのようなことが行われているのかを知り、高槻にある学校の生徒として貢献できることを考えていくプロジェクトです。



中等部1年 MACHI プロジェクト



－ 高槻を知り、高槻に関わり、高槻の人とつながる －



系列別調査活動

中等部1年では、興味関心に合わせて都市交流・地歴・自然・福祉系列に分かれて調査活動します。各系列で活動する中で課題を見つけ、解決の糸口を高槻の人たちと共に地域への貢献を探っていくプロジェクトです。

異文化を知り、
異文化と交流する

都市交流系列

高槻の地理歴史を
PRしよう

地歴系列

高槻の竹との共生を
目指して

自然系列

心でつながる出会い

福祉系列

系列フィールドワーク

各系列ごとに調査活動を実施する上で、現場で活動をしている方々にお話を伺いました。また、活動に参加させていただくこともありました。

FWやインタビューにご協力いただいた企業・団体

国際系列

1. 株式会社First Retelling GU高槻店
2. JICA関西
3. 届けよう「服のチカラ」プロジェクト事務局
4. Fairholme College Ms. Jody Friend Toowoomba市受入先
5. With The World Tio Dong
6. ベトナム市師範大学日本語学部
7. 関西大学留学生

地歴系列

1. 今城塚古墳公園
2. しろあと公園・しろあと歴史館
3. ハニワ工場公園
4. 上宮天満宮
5. 神服神社・関力寺
6. 安満宮山古墳
7. 関西大学社会安全学部奥村与志弘准教授
8. 高槻北消防署
9. 株式会社もりもと
10. 株式会社タニチ
11. 高槻市役所街にぎわい部観光ディセールズ課
12. 高槻まつり振興会事務局

自然系列

1. 上宮天満宮竹の採取
2. 弁天公園にて竹垣作製

福祉系列

1. 高槻市社会福祉協議会
2. 社会福祉法人照治福祉会 浦堂認定こども園
3. 社会福祉法人聖ヨハネ学園児童養護施設聖ヨハネ学園
4. 高槻ねこの会
5. NPO法人森のプラットフォーム高槻
6. あくあびあ川
5. 関大ボランティアセンター高槻班
6. ナルク高槻・島本
7. 川村義肢株式会社
8. 株式会社ダイキンサンライズ摂津



Schedule

4月

ープロジェクトとはー
・系列ガイダンス
・系列選択

5月

ープロジェクトとはー
・系列希望調査
・系列配属決定

6月

ー課題発見ー
・講演会
・調査計画
・系列FWの準備

7月

ープロジェクトの実行ー
・系列FW
・調査活動

8月

ープロジェクトの実行ー
・調査活動

9月

ープロジェクトの実行ー
・調査活動

10月

ープロジェクトの実行ー
・中間発表準備

11月

ー課題解決ー
・課題解決に向けた
調査活動

12月

ー課題解決ー
・課題解決に向けた
調査活動

1月

ー課題解決ー
・課題解決に向けた
調査活動

2月

ー成果発表ー
・総合学習発表会

3月

ーふりかえりー
・まとめ
・評価

MIRAIプロジェクトについて

みなさんの食卓に並ぶごちそう、そこにたどり着くまでに、いったい何人の人が関わっていると想像できますか。人が働き、ものが流通することで、人は暮らしていけるのです。

産業の構造を知り、人と人とのつながりを実感し、人が暮らす地域とは何かを産業を通じて考えるプロジェクトです。



中等部2年 MIRAI プロジェクト

—ものづくりから人がつながる地域づくりへ—



日置川宿泊研修 [農業体験 / 物産展企画ミーティング]

日置川宿泊研修に向けて、事前学習として第1次産業・第2次産業・第3次産業を学びます。研修では、全生徒が農家に宿泊し、農林漁村の生活を通して自然との共生や産業で生きる意味を理解します。

関西大学高槻ミュージャンパスで実施予定の日置川物産展のための企画・立案をもとに、農家の方々に助言をいただくことで、さらに第6次産業を学びます。

研修内容

1. 民泊体験
2. ほんまもん体験 (木工品・梅ジュース・備長炭・味噌づくり・梅ジャム・藍染め)
3. ドラゴンボート体験
4. 物産展企画ミーティング



系列フィールドワーク

第1次産業・第2次産業・第3次産業に分かれて職業を体験。その後、日置川物産展へ向けて、産業を担う方々の苦労や工夫を知りました。

体験先

第1次産業

畑中農園
高槻しいたけセンター
高槻市内個人農家

第3次産業

ケンタッキーフライドチキン アル・プラザ高
平和堂アルプラザ
高槻アレックスシネマ
大垣書店 高槻店
オーモチ靴屋
魚政
洋食のいるは
O's HAIR アクトモール店
高槻あいわ保育園
ロッテリア 高槻アクトアモレ店

第2次産業

高槻化成株式会社
株式会社小松製作所

ケアズドラッグ
コスメティックギャラリーRIN
ユニヴ・ライフ株式会社 高槻店 (不動産)
ペーカリーカナリヤ
コメダ珈琲 JR高槻駅北店
コーヒーマウンテン
大阪農園
天庄 (果物野菜)
天勝堂 (印鑑)
高槻北消防署

日置川物産展 in 高槻ミュージャンパス

日置川宿泊研修、系列フィールドワークを通じて、「もの」がつながることを意識した物産展を実施。日置川でお世話になった方々にもご協力いただき、たくさんの保護者や生徒達に日置川で生まれた「もの」を届けました。



Schedule

4月

ープロジェクトとはー
・ガイダンス
・活動計画

5月

ープロジェクトの実行ー
・日置川宿泊研修準備
産業と地理

6月

ープロジェクトの実行ー
・日置川宿泊研修準備
プロフィール作成

7月

ープロジェクトの実行ー
・日置川宿泊研修
民泊
家業体験
物産展打ち合わせ

8月

ープロジェクトの実行ー
・調査活動

9月

ープロジェクトの実行ー
・系列FW準備

10月

ープロジェクトの実行ー
・系列FW

11月

・プレゼンテーション

12月

ー中間発表ー
ープロジェクトのまとめー
・地域創生ディベート準備

1月

ープロジェクトのまとめー
・地域創生ディベート準備
・日置川物産展準備

2月

ープロジェクトのまとめー
・地域創生ディベート
・日置川物産展

3月

ーふりかえりー
・評価

MICHIプロジェクトについて

日本の心とも言える「おもてなし」「もったいない」「しあわせ」について追究し、カナダでの学校生活、家庭生活と比較して、日本人のアイデンティティーについて考えます。

自分の過去をふりかえり、日本で生活している今の自分を見つめ直し、未来の自分を考えるプロジェクトです。



中等部3年 MICHI プロジェクト

－ 表現活動を通じて、自分のあり方を考える －



系列別表現活動

日本を知りたいことを目的として、生徒たちは興味関心に基づいて、おもてなし（異文化な社会）、もったいない（持続可能な社会）、しあわせ（平和な社会）の3つの系列に分かれて活動します。

おもてなし系列

異文化な社会を考える

もったいない系列

持続可能な社会を考える

しあわせ系列

平和な社会を考える

カナダ研修 [ホームステイ / 学校交流]

カナダは多文化の国であり、ホームステイ先のファミリーや学校で出会う生徒たちにもいろいろな人がいます。そして、日本から来た自分自身がどのような存在であるかを考えさせられる毎日を通します。研修に行く前と行った後の自分の考え方を比較し成長を実感します。自分とは何か、自分はどのようにしていきたいのか。中等部最後のプロジェクト学習では、自分自身について考える機会を多く設けています。

研修内容

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1日目 出国 | 5日目 現地校交流・授業 |
| 2日目 バンクーバー研修・報告会 | 6日目 現地校交流・授業・フェアウェルパーティ |
| 3日目 ホストファミリーと対面 | 7日目 大学・博物館見学 |
| 4日目 ファミリーディ | 8.9日目 帰国 |

※年度によって多少変更があります。



Schedule

4月

ープロジェクトとはー
・ガイダンス
・系列選択

5月

ープロジェクトの実行ー
・京都FW準備
・京都FW

6月

ープロジェクトの実行ー
・系列活動
作品づくり

7月

ープロジェクトの実行ー
・系列活動
作品づくり
・カナダ研修準備

8月

ープロジェクトの実行ー
・系列活動
作品づくり

9月

ープロジェクトの実行ー
・カナダ研修準備
・文化祭展示

10月

ープロジェクトの実行ー
・カナダ研修
・研修ふりかえり

11月

・プレゼンテーション

12月

ープロジェクトのまとめー
・My Story

1月

ープロジェクトのまとめー
・My Story
・総合学習発表会準備

2月

ープロジェクトのまとめー
総合学習発表会

3月

ーふりかえりー
・評価

課題研究について

関西大学高等部では、設立当初より課題研究に取り組んできました。2014年度のSGH事業の採択によってさらにその内容は充実し、各ゼミを大学の先生に1人ずつサポートしていただくことで、より専門性を深めることができています。

高等部1年生ではグループ研究、2年生では個人研究に取り組みます。課題設定を終えたメンバーが分野ごとに集まり、グループ学習やディベート、プレゼンテーション、フィールドワークなどを行います。その中で自らの意見と他者の意見をもとにして、課題解決のための道筋を考え、根拠をもとにして意見をまとめます。しかし、この過程は簡単なものではないことを徐々に生徒たちは実感しています。仲間とともに支え合いながら、さまざまな視点で物事を考えることの重要性を認識し始めています。このカリキュラムの中で、答えが一つではない世界ではばたくために、合意形成力、批判的思考力、論理的思考力などのさまざまな能力を身につけられることを期待しています。

高等部1年 プロジェクト基礎

プロジェクト基礎学習

4系列10ゼミに分かれて活動を行っています。各ゼミは15～16名の少人数グループにし、それぞれ各教科から担当教員と専門性の高い外部講師の先生を配置し、学校全体で取り組めるような体制づくりをしています。高等部1年生では各ゼミ内でさらに3～4のグループに分かれ、身近なところから課題を見つけてグループ研究に取り組んでいます。

系列	ゼミ	研究者名	所属
社会	経済産業	北原 聡 先生	関西大学経済学部
	地域創生	佐々木 保幸 先生	関西大学経済学部
	政治	西山 真司 先生	関西大学政策創造学部
人間	国際協力	山本 一 先生	元三菱電機株式会社
	文化歴史	井上 主税 先生	関西大学文学部
	教育	赤尾 勝己 先生	関西大学文学部
自然	都市環境	山本 秀樹 先生	関西大学環境都市工学部
	自然環境	松村 吉信 先生	関西大学化学生命工学部
安全	危機管理	藤川 恵 先生	元三菱電機株式会社
	災害事故	尾崎 平 先生	関西大学環境都市工学部

外部講師一覧（2022年度）

関大高等部SDGsフォーラム

グローバルな社会問題を背景として、自らの興味関心に基づいた課題を発見することを目的として、全生徒は国連が提唱するSDGsの17のテーマに分けられました。日本の企業や諸団体の活動を知り、日本の「強み」について考えるとともに、外から見た日本について考える機会となりました。

これまでに協力いただいた企業・団体一覧

株式会社竹中工務店	株式会社かんぼう
錦城護謨株式会社	JICA関西
オムロン株式会社	ダイキン工業株式会社
サラヤ株式会社	浄土真宗本願寺派（西本願寺）
株式会社JTB	株式会社マングラム
株式会社SCREENホールディングス	公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
株式会社カネカ	吉本興業株式会社
株式会社日本旅行	関西NGO協議会
株式会社堀場製作所	NPO法人 Colorbath
関西電力株式会社	一般社団法人ソーシャルギルド
大阪市男女いきいき財団	株式会社NFL
富士通Japan株式会社	ユニクロ OSAKA店
株式会社LIXIL	認定NPO法人D×P
株式会社新興出版社啓林館	NPO法人里山倶楽部
NPO法人NICE	有限会社re・make



Schedule

4月

—研究とは—
・ガイダンス
・新入生研修

5月

—研究とは—
・輪読
・講義

6月

—課題発見—
・関大SDGsフォーラム
・ゼミ希望調査
・ゼミ配属決定

7月

—課題設定1—
・グループ分け
・課題設定
・研究計画

8月

—研究の実行—
・研究計画
・文献調査

9月

—課題設定2—
・課題の妥当性
検証
・先行研究調査

10月

—研究の実行—
・FW
・文献調査

11月

—研究の実行—
・FW
・文献調査

12月

—研究のまとめ—
・アウトライン
補正

1月

—研究のまとめ—
・ポスター発表会準備

2月

—成果の発表—
・ポスター発表会
・個人レポート

3月

—成果の発表—
・個人研究に向けて
・評価



高等部2年 プロジェクトゼミ



プロジェクトゼミ学習

4系列10ゼミに分かれて活動を行っています。各ゼミは15～16名の少人数グループにし、それぞれ各教科から担当教員と専門性の高い外部講師の先生を配置し、学校全体で取り組めるような体制づくりをしています。高等部2年生では個人研究になり、主に面談や文献調査、フィールドワークなどを通して、研究を進めていきます。

系列	ゼミ	研究者名	所属
社会	経済産業	矢田 勝俊 教授	関西大学商学部
	地域創生	石田 成則 教授	関西大学政策創造学部
	政治	笹部 真理子 先生	関西大学文学部
人間	国際協力	山本 一 先生	元三菱電機株式会社
	文化歴史	小川 一仁 教授	関西大学社会学部
	教育	吉田 由似 先生	関西大学文学部
自然	都市環境	楠見 晴重 教授	関西大学環境都市工学部
	自然環境	中井 美早紀 准教授	関西大学化学生命工学部
安全	危機管理	伊藤 大輔 准教授	関西大学社会安全学部
	災害事故	小澤 守 先生	関西大学名誉教授

外部講師一覧（2022年度）

フィールドワーク

課題設定とアウトライン計画を終えた生徒達は、幅広く情報を収集するために文献調査を行い、問いを見いだした上で企業や施設を訪問します。各訪問先でインタビュー調査を行い、収集した視点を持った情報からさらに深い問いを見だし、文献調査やディスカッションを繰り返すことで結論へと繋げていきます。

インタビュー調査にご協力いただいた企業・団体一覧（2021年度版）

1. タワーレコード高槻阪急店	13. 東大阪市消防局
2. タワーレコードTOWER miniくずはモール	14. 大阪市立大学医学部附属病院
3. タワーレコード梅田NU茶屋町店	15. 児童養護施設聖ヨハネ学園
4. 森永製菓株式会社	16. 高槻高校
5. 株式会社明治	17. 大阪大学大学院（人間科学研究科）
6. 株式会社ブルボン	18. 阪南大学大学院（企業情報研究科）
7. 株式会社ロッテ	19. 関西大学大学院（理工学研究科）
8. 株式会社JTB	20. 関西大学大学院（法学研究科）
9. 象印マホービン株式会社	21. 関西大学初等部
10. 竹田研究会	22. 関西大学第一高等学校
11. 西成区役所	23. 関西大学北陽高等学校
12. あべのタスカル 大阪市立阿部の防災センター	



Schedule

4月

—研究とは—
・ガイダンス
・ゼミ内プレゼン

5月

—研究計画—
・アウトライン

6月

—研究の実行—
・文献調査
・序章執筆

7月

—研究の実行—
・文献調査
・先行研究調査

8月

—研究の実行—
・文献調査

9月

—研究の実行—
・文献調査

10月

—研究のまとめ—

11月

—研究のまとめ—
・アウトライン
補正

12月

—中間発表—
・ポスター発表会
・調査研究
・論文執筆

1月

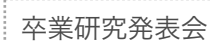
—研究のまとめ—
・論文執筆
・論文相互評価
・論文訂正

2月

—研究のまとめ—
・抄録作成

3月

—成果の発表—
・発表準備
・発表練習
・評価



これまでに培ってきた力を生かし、個人課題研究の発表会を実施します。自らが立てた答えのない問いに立ち向かい、あっているか、間違っているか、自問自答を繰り返したプロジェクト科目の時間は簡単な道のりではありませんでした。

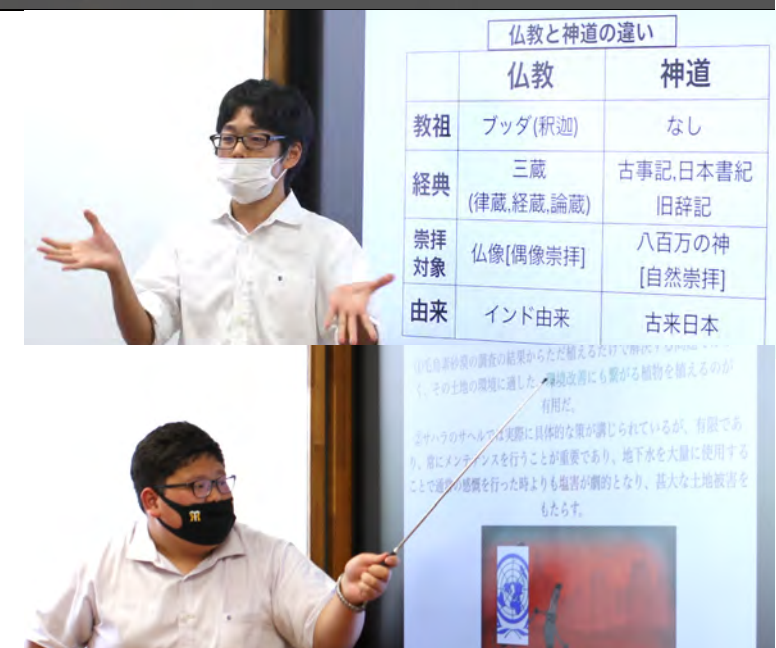
多面的なものの見方、論理的な考え方を精一杯披露する場面として、予選会と本選会を行います。

発表テーマ一部抜粋

1. 高機ミュージカンパスの初・中・高等部生に対する非常食の課題
2. 子育て世代の仕事と家庭の両立における課題
3. 水墨画で描かれた猿に関する考察
4. 海洋生物はマイクロプラスチックを吸収、排泄出来るのだろうか
5. 正規雇用増減と若者就職支援
6. 一事不再理による加害者利益の考察
7. ブルンジ共和国（中部アフリカ）でキャベツ農業の発展による慢性栄養不良からの脱却を目指す
8. 高等学校のICT教育における学力向上方法
9. 学校ビオトープから考える持続可能な学習環境を提案する
10. 南海トラフの被害予想と適切な避難方法
11. 堺打刃物の存続問題

葦葉祭での貢献活動

菫葉祭（文化祭）において地域貢献・社会貢献型の模擬店を計画し、自分たちの考えたプランが果たして社会で通用するのを実践します。これまで取り組んできた課題研究の総まとめのプログラムです。



仏教と神道の違い		
	仏教	神道
教祖	ブッダ(釈迦)	なし
経典	三蔵 (律蔵,経蔵,論蔵)	古事記,日本書紀 旧辞記
崇拝 対象	仏像[偶像崇拝]	八百万の神 [自然崇拝]
由来	インド由来	古来日本

山岳自然環境調査の結果からたどれるため、無条件に「自然環境保全」を主張するのではなく、その土地の環境に適した環境改善にも繋がる植物を植えるのが有効だ。

近々サハラのサヘルでは実際に具体的な策が講じられているが、有効であり、常にメンテナンスを行うことが重要であり、地下水を大量に使用することで道徳的懸念を行った時よりも塩害が顕的となり、甚大な土地被害をもたらす。

4月

—研究の成果—

- ・プレゼン準備
- ・プレゼン練習

5月

—研究の成果—

- ・予選会
- ・本選会

6月

—貢獻活動—
・模擬店計画

7月

—貢獻活動—
・模擬店準備

8月

—プログラムの実行—
・模擬店準備

9月

—プログラムの実行—
・葦葉祭模擬店

10月

—プログラムのまとめ—
・ふりかえり

11月

一成果発表一
・決算報告会

12月

一成果発表一
・報告書提出

1月

2月

3月



探究教育「学の実化 Project Based Learning」

発 行 2022年7月

発行者 関西大学中等部高等部 研究開発部

印 刷 関西大学印刷センター

題 字 糸見 溪南